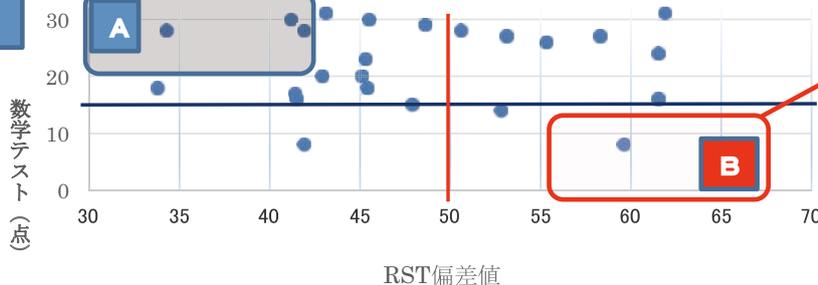


- 比較的に長い文章を読み取り、自分の考えをかく活動を設定する。
- 『条件不足・条件過多』の問題文を提示する。
- 文章を読み取り考えていく過程で、読み取ったことを整理するため図的表現を用いるようにする。
- 主語が書かれていない文章は、教師が意図的にその文章の主語を問うたり、補うように指示したりする。

『H28 RST の結果』と『埼玉県学力・学習状況調査(数学2年の成績)』の相関図

普通の成績は良いが、RSTの結果が良くない。

RST偏差値(推論と係り受け)と数学テストの結果との相関について



普通の成績は良くないのに、RSTの結果はとても良い。

4 おわりに

本年度は、戸田市内の小・中学校を対象として、「視写する能力」と「RSTの結果」を関連付け、どのような教育が効果的にRSを向上させるのか、一歩進んだ実証研究も進めることもできました。

市内の学校では、RS向上を意識した授業改善等の実践の深まりや校内研究組織の位置付けなど、心強くありがたい取組が進められていると聞いています。ここからは、しっかりとしたデータに基づき、エビデンスベースで効果的な指導方法等を吟味していくことが、課題となります。そのために、研究者や教育関連企業等が集まって、起ち上げた「社団法人教育のための科学研究所」のリソースを活用し、戸田市の皆様と包括共同契約の下で子供たちの「未来を生きる力」を育んでいきましょう。

教育センター教科等研究グループ

戸田市立教育センター教科等研究グループ(教育センター研究員)は、教員としての資質と指導力の向上と、戸田市の教育の充実を目的として研究を推進しています。

今年度は、11部会が「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善」を共通テーマとして、研究に取り組みました。

国語部会

主体的・対話的で深い学びを児童生徒が実感できる授業づくり

～国語科における多様な学習活動を通して～

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

【教材研究、指導法の共有や協議から】

- ・言語活動の目的意識・相手意識を明確化
- ・興味関心をもたせる言語活動の工夫
- ・語彙力を向上させる教材研究
- ・他教科との関連

■研究成果

- ・児童生徒の活動が中心の学習形態に挑戦できた。
- ・興味関心をもたせる課題や活動を練ることができた。
- ・児童生徒が楽しみながら学びに向かうことができた。

■課題

- ・語彙力の更なる向上と学びの成果の実感を深めさせる手立てが今後の課題である。



算数・数学部会

創造的な学習による21世紀型スキルの育成

～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・21世紀型スキルを育成するための創造的な学習の考察、授業実践の検討
- ・21世紀型スキルを育成するための主体的・対話的で深い学びの在り方
- ・創造的な学習のための授業改善の視点の検討

■研究成果

- ・児童生徒自身が既存概念を打破したり、統合的・発展的に考えたりする経験を積み重ねていくことで、創造的な学びが構築され、21世紀型スキルの育成につながることを検証できた。
- ・小・中学校間で指導法や実践事例について協議することで、自己の教材研究を深め、授業力を向上させることができた。



社会部会

児童生徒が主体的に学ぶ学習活動 ～社会科における問題解決的な学習の 具現化を通して～

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・単元の指導計画の中での協調学習や思考ツールの活用
- ・知識の構造図を活用した教材研究による問題解決的な学習の具現化

■研究成果

- ・ただ協調学習や思考ツールを扱うのではなく、単元の流れの中で適切な時間に活用するよう意識し、授業者としての研究を深められた。
- ・すべての児童生徒が主体的に学習活動に取り組み、学習したことを自ら説明したりまとめたりする基礎的・基本的な力を育てることができた。

思考ツールを活用した単元のまとめ及び単元の学習のスタート



理科部会

アクティブ・ラーニングによる指導法の工夫

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・児童自身が自ら課題を持つ課題設定とは
- ・授業の中で協働的に取り組む場面をどこに設定するか（予想する・実験する・実験結果をまとめる・考察する場面）
- ・児童生徒の深い学びを見取るには



■研究成果

- ・関心意欲の高まりから能動的に学ぶことができた。
- ・対話的な学びから思考を深めることができた。
- ・エキスパート資料の研究を共有化することができた。
- ・理科の系統性における小・中の連携を強化できた。

■課題

- ・アクティブ・ラーニングの評価基準の設定（ルーブリックなど）

体育・保健体育部会

体育授業における、ICTを活用したアクティブ・ラーニング

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・体育授業における目指す姿の共通理解
- ・場面に応じたICTの効果的活用について
- ・授業研究（4年・高跳び）での実践の検証
- ・一人一実践による、実践例の蓄積



個別の課題の確認



ペアで撮影、動きの修正



本時の成果と次の課題発見

■研究成果

- ・体育授業において主体的な姿、対話的な姿、深い学びの姿とは何かを明確にし、共通理解を図ることができた。
- ・授業研究や一人一実践を通じて、様々な単元や学年におけるICT活用やアクティブ・ラーニングの可能性を広げることができた。

■課題

- ・中学校での実践例の蓄積や、小中連携を視野に入れた系統的な指導の研究が今後の課題である。

外国語活動・外国語部会

児童・生徒の主体性を高めるモジュール・帯活動の工夫

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・考えや気持ちを取り入れた自己表現活動の工夫
- ・目的、場面、状況を設定した言語活動（45分授業との有機的な関連）
- ・英語とプログラミングのコラボレーション

■研究成果

- ・45分授業に生かすためのモジュールや帯活動での児童・生徒の実態に即した段階的な指導法の共有ができた。
- ・45分授業とモジュールとの関連により、児童の主体性を高め、深まりのある言語活動を実践することができた。

■課題

- ・今後は誰でもできるモジュール・帯活動の実践の一般化を図る必要がある。



モジュールで馴染んだ表現とBeebotを生かして、夢の町を英語で道案内することができました。

特別活動部会

個性の伸長を図る指導と評価の工夫

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していくための話合いの工夫
- ・学びを次につなげる課題選択（議題化）の工夫

■研究成果

- ・見通しをもたせる事前指導の工夫を共有できた。
- ・思いや願いをわかり合う話合いの指導の工夫を共有できた。

■課題

- ・さらに自らの学習状況やキャリア形成を見通せるような振り返りについて一層研究を深めていきたい。

学級会の指導の在り方を研究する模擬学級会



音楽部会

音楽的な見方・考え方を豊かにする主体的・対話的な学びの探求

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・ペアやグループでの音楽づくり、共通事項（音楽のもと）を支えとした音楽理解と表現活動などを柱とした授業研究

■研究成果

- ・学年を問わず、主体的・対話的な活動は音楽への理解を深めることに効果的であることが分かった。
- ・主体的・対話的な学びを取り入れたことにより、音楽的な見方・考え方を働かせ、音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成を試みた。



道徳部会

児童生徒が主体的に話し合う楽しい道徳の授業

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・児童生徒が話し合いを充実させ、自己の考えを深めるための展開の工夫。
- ・友達の考えに触れ、多面的・多角的な見方へと発展できる授業展開の工夫。

■研究成果

- ・話し合いを工夫することによって、友達の考えに触れる時間も増え、多面的な見方につながっていた。
- ・板書の工夫や思考ツールの活用により、児童の変容が可視化され、より活発な意見交流につながった。



プログラミング教育部会

プログラミング教育の授業実践

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・プログラミング教育と主体的・対話的で深い学びに関連した授業実践
- ・多様なプログラミング教材を活用した授業デザインの検討



■研究成果

- ・アンプラグドからロボット教材へと学習を段階的に進めたことで、児童・生徒にプログラミング教育の楽しさを体感させることができた。
- ・各教科で様々なプログラミング授業の実践が行われ、プログラミング教育の活性化につながった。
- ・普段の授業や学校生活の中で、児童・生徒が順序立てて物事を考え、実行する姿が見られるようになった。

特別支援教育部会

配慮を要する児童への支援、個に応じた指導法の工夫

■アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

- ・個に応じた教材の活用と指導の工夫
- ・事例研究
- ・教科等における指導法の工夫
- ・教室環境の整備

■研究成果

- ・個別の支援方法の共有化ができた。
- ・教材・教具の共有化ができた。
- ・iPadアプリの活用の共有化ができた。
- ・体育の指導法の工夫ができた。



アクティブ・ラーニング研究員による実践研究

「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究(H28～29 文部科学省委託事業)」

1 主な取組内容

○拠点校7校での授業研究会の実施

- ・小学校5校・中学校2校での授業研究会の実施（研究員及び市内希望者が参加）
- ・授業後にアクティブ・ラーニング6つのチェックポイントを活用した振り返りを行い、更なる授業改善につなげる。
- ・授業後に行った協議のまとめは、後日、市内全小中学校で共有する。
- ・少人数グループによる学びを評価できるよう、音声議論評価サービス（株式会社ハイラブル）を活用する。



2 成果について

- ループリックの作成。
- 新たな授業分析システムでの実践。

3 今後に向けて

- アクティブ・ラーニングループリックについては、次年度、日々の授業や研究協議会等で活用し、学習者主体の授業改善となるよう研究を進めていく。

